

# 技術・家庭科家庭分野における 生活技能を高める学習指導に関する研究

－自主実習題材での学習指導計画とコンテンツの作成を通して－

平成 27 年 3 月  
岩手県立総合教育センター  
長期研修生  
所属校 盛岡市立北陵中学校  
太 田 直 利

## 目 次

I	研究目的	1
II	研究の方向性	1
III	研究の内容と方法	1
1	内容と方法	1
2	授業実践の対象	2
IV	研究結果の分析と考察	2
1	技術・家庭科家庭分野における生活技能を高める学習指導に関する基本構想	2
(1)	技術・家庭科家庭分野における生活技能を高める学習指導に関する基本的な考え方	2
(2)	技術・家庭科家庭分野における生活技能を高める学習指導に関する基本構想図	5
2	自主実習題材での学習指導計画とコンテンツを活用した授業実践の概要及び結果の分析と考察	6
(1)	基本構想に基づく手立て	6
(2)	検証計画	8
(3)	作成した自主実習題材での学習指導計画とコンテンツによる授業実践の概要	8
(4)	授業実践結果の分析と考察	16
(5)	自主実習題材での学習指導計画とコンテンツの改良	20
V	研究のまとめと今後の課題	20
1	研究のまとめ	20
2	今後の課題	21

<おわりに>

【引用文献】

【参考文献】

## I 研究目的

中学校技術・家庭科家庭分野の学習指導では、製作、整備、操作、調理などの実習を通して、実際の生活に必要な生活技能を習得させ、生活での実践意欲につなげ、生活技能を高めることを重視している。生活技能を高めるためには、実生活とのつながりや地域の生活文化とのかかわりに配慮し、中学生としての生活を自立的に営めるよう指導することが重要である。

しかし、実際には一斉授業による指導が中心となり、限られた実習時間の中で、一部の生活技能の習得にとどまりがちである。これは、生徒個々に異なっている生活技能の未習得項目に対する個別の示範や補充指導が十分に行われていないことに原因があると考えられる。

このような状況を改善するためには、実生活とのつながりや地域の生活文化とのかかわりに配慮して、習得すべき生活技能の学習を効果的に盛り込んだ自主実習題材での学習指導計画を作成する必要がある。さらに、自主実習題材での学習指導において、生徒が習得すべき生活技能を実習中に確認できるコンテンツを作成し、授業での活用場面を学習指導計画に盛り込むことが効果的であると考える。

本研究は、自主実習題材での学習指導計画とコンテンツを作成し、それらを活用した授業実践を通して、中学校技術・家庭科家庭分野における生活技能を高める学習指導の充実に役立てようとするものである。

## II 研究の方向性

中学校技術・家庭科家庭分野における生活技能を高める学習指導の充実に役立てるため、次の2点から成果と課題を明らかにする。

- 1 自主実習題材での学習指導計画とコンテンツを作成する。
- 2 自主実習題材での学習指導計画とコンテンツを活用した授業実践を行う。

## III 研究の内容と方法

### 1 内容と方法

- (1) 技術・家庭科家庭分野における生活技能を高める学習指導に関する基本構想の立案(文献法, 調査法, 教材開発法)
- (2) 自主実習題材での学習指導計画と生活技能の習得を支援するコンテンツの作成(文献法, 教材開発法)
- (3) 授業実践計画及び検証計画の立案(文献法)
- (4) 作成した自主実習題材での学習指導計画とコンテンツによる授業実践とその分析・考察(授業実践, テスト法, 作品法)
- (5) 技術・家庭科家庭分野における生活技能を高める学習指導に関する研究のまとめ

## 2 授業実践の対象

盛岡市立北陵中学校 第1学年 全学級7学級のうち2学級61名（男子34名，女子27名）

## IV 研究結果の分析と考察

中学校技術・家庭科家庭分野において生活技能を高める学習指導の充実に役立てるため，自主実習題材での学習指導計画とコンテンツを作成した。ここでは，本研究の基本構想，自主実習題材での学習指導計画とコンテンツを活用した授業実践の概要と分析・考察の結果を述べる。

### 1 技術・家庭科家庭分野における生活技能を高める学習指導に関する基本構想

#### (1) 技術・家庭科家庭分野における生活技能を高める学習指導に関する基本的な考え方

##### ア 生活技能を高める学習指導

中学校技術・家庭科家庭分野の指導における生活技能とは，中学生として生活を自立的に営むために必要な生活技能のことをいい，よりよい生活を目指した衣食住などの生活で実践する力となる。例えば，衣生活の内容では，まつり縫いによる裾上げ，ミシン縫いによるほころび直し，スナップ付けなど日常着の補修に必要な裁縫技能である。食生活の内容では，衛生的な食材の洗い方，調理に適した切り方，肉・魚・野菜等を「煮る」・「焼く」・「炒める」などの調理操作である。また，製作や調理などの実習に必要な用具の安全な扱い方ができることも，安全で衛生的な生活を営むために必要な生活技能となる。例えば，製作では，ミシンを用いて作業する際のミシンの点検・手入れ，作業環境の整備，ミシン，針類，はさみ類，アイロンなどの安全で適切な扱いのことである。調理では，ふきんやまな板の衛生的な取扱いができることや電気やガス用の器具を効率よく安全に扱うことなどである。

これらの生活技能の習得を図り，生徒が，主体的に実生活で実践しようとする意欲をはぐくむ学習指導が必要であると考ええる。

##### イ 自主実習題材

中学校・技術・家庭科家庭分野の学習指導を通して生活技能を高めるためには，実生活とのつながりや地域の生活文化とのかかわりに配慮し，中学生としての生活を自立的に営めるよう指導することが重要である。そこで，生活技能を高める学習指導を行うための具体的な手立てとして，自主実習題材での学習指導計画が必要となる。

#### (ア) 自主実習題材の定義

中学校学習指導要領解説技術・家庭編では，実習とは，製作，整備，操作，調理などの

実践的・体験的な学習活動のことであると示されている。題材とは、「教科の目標及び各分野の目標の実現を目指して、各項目に示される指導内容を指導単位にまとめて組織したものである」と示されている。また、「家庭分野では、例えば、「D身近な消費生活と環境」の各項目を履修する場合、「A家族・家庭と子どもの成長」、「B食生活と自立」、「C衣生活・住生活と自立」の各項目との関連を図って題材を設定することが考えられる」としている。さらに、学習指導の展開の中に、生徒の実際の生活を意図的に盛り込むことや、生徒が学習の成果を積極的に生活に生かすことができるようにすることが重要であると述べている。衣生活の内容では、和服と洋服の構成・着方の違いや刺し子・南部裂き織などの伝統手芸、食生活の内容では、学校周辺地域の伝統的な行事食や郷土料理といった生活文化とのかかわりなどの視点を実習題材での指導計画に意図的に盛り込むことが考えられる。そのことによって、中学生としての生活を自立的に営む力を身に付けることができる。これらの理由から、「自主実習題材」が必要であると考え、次のように定義した。

自主実習題材	指導する教員が、生徒の生活技能の習得状況を把握し、実生活とのつながりや地域の生活文化とのかかわりに配慮して構成した実習題材のこと
--------	--

本研究では、教員が、生徒の生活技能の習得状況を把握し、実生活とのつながりや地域の生活文化とのかかわりに配慮した実習題材を構成し指導することで、生徒の生活技能を高めることができると考えた。

#### (イ) 自主実習題材での学習指導計画

生活技能の習得を図るためには、生徒の生活技能の習得状況を把握し、実生活とのつながりや地域の生活文化とのかかわりに配慮して学習指導計画を立てることが重要である。

学習指導計画を立てる前に生徒の生活技能の習得状況を調査・把握し、指導を必要とする未習得技能を明確にすることで、補充指導を計画的に行うことができる。また、学習指導計画を立てる際に、生徒に習得させる生活技能、生徒の実生活とのつながり、学校周辺地域の生活文化とのかかわりなどの視点を自主実習題材での学習指導計画に意図的に盛り込むことで、生活技能の習得を高めることができる。

#### 【資料1】自主実習題材での学習指導計画作成の視点

- ・生徒の生活技能の習得状況の把握
- ・習得すべき生活技能
- ・実生活とのつながりや地域の生活文化とのかかわり

自主実習題材での学習指導計画作成の視点を【資料1】に示す。

#### ウ コンテンツ作成の視点

コンテンツについて、財団法人デジタルコンテンツ協会（2005）では、「情報の中味という意味

であり、コンテンツの構成要素は、映像、画像、サウンド（音楽・音声）、文字（テキスト）である」と述べている。また、岩手県立総合教育センター（2014）、電子黒板等のICT機器を利用した活用実践集では、「コンテンツは、テキスト情報や画像情報、音声情報」と定義されている。

中学校技術・家庭科家庭分野における生活技能を高める学習指導の充実に役立てるため、コンテンツを作成した。本研究におけるコンテンツの作成は、製作、整備、操作、調理などの実習において、生活技能の習得を支援することをねらいとした。その際、必要とされるコンテンツの情報は、テキスト情報、画像情報である。生活技能の習得を支援するコンテンツ作成の視点を【表1】に示し、「学習指導計画を支援するコンテンツ」、「実習を支援するコンテンツ」について述べる。

学習指導計画を支援するコンテンツは、教員が活用するもので、【表1】のコンテンツ作成の視点を基に、自主実習題材の学習指導計画に、一単位時間の学習指導展開案・学習シート等のテキスト情報と、小・中学

【表1】生活技能の習得を支援するコンテンツ作成の視点

対象	種類	コンテンツ作成の視点
教員	学習指導計画を支援するコンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主実習題材での学習指導計画全体を見通すことができる</li> <li>・習得すべき生活技能が一単位時間ごとに一目で分かる</li> <li>・一単位時間で用いる資料が確認できる</li> <li>・実技示範や補充指導に活用することができる</li> </ul>
生徒	実習を支援するコンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習得すべき生活技能を画像情報で確認できる</li> </ul>

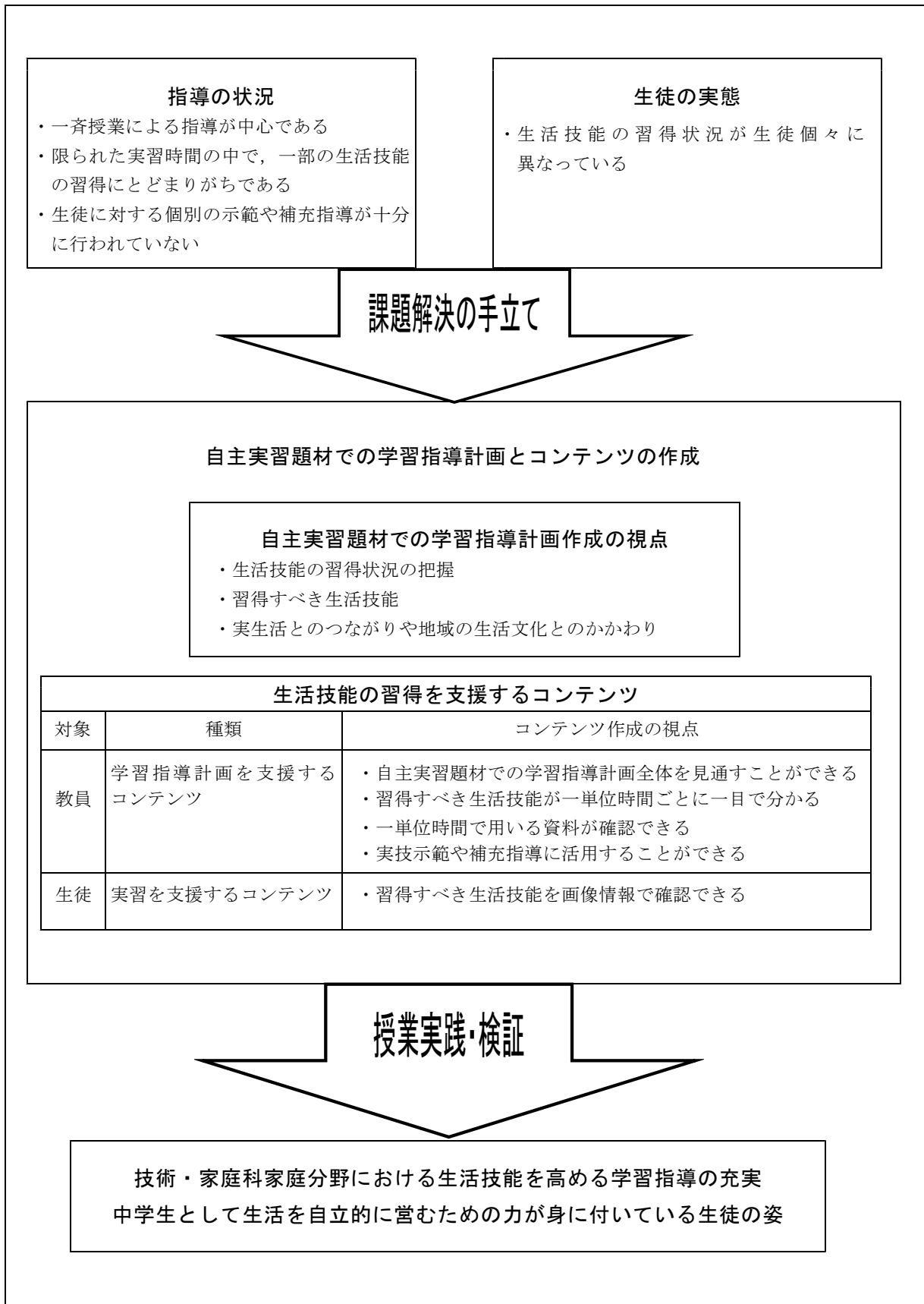
校家庭科で習得させる生活技能や自主実習題材の指導に必要な段階標本等の画像情報をまとめたものである。これらを一つにまとめたコンテンツによって、自主実習題材での学習指導を効率よく見通すことができるとともに、実習指導での実技示範が不安な生活技能を事前に確認することができる。

実習を支援するコンテンツは、生徒が実習中に活用するもので、小・中学校家庭科で、生徒が習得すべき生活技能(裁縫技能、調理操作など)の画像情報をまとめたものである。作成したコンテンツを実習室内に設置したパソコンやプロジェクター等の画面で確認することができる。教員の実技示範だけでは理解できず、作業開始時や作業中に戸惑いやつまずきを感じる生徒は、自分でコンテンツを確認することで、生活技能の習得を図ることができる。

このように、自主実習題材での学習指導計画とコンテンツを作成し、それらを活用した授業実践を通して、中学校技術・家庭科家庭分野における生活技能を高める学習指導の充実に役立てられると考えられる。

(2) 技術・家庭科家庭分野における生活技能を高める学習指導に関する基本構想図

技術・家庭科家庭分野における生活技能を高める学習指導に関する基本構想図を【図1】に示す。



【図1】技術・家庭科家庭分野における生活技能を高める学習指導に関する基本構想図

## 2 自主実習題材での学習指導計画とコンテンツを活用した授業実践の概要及び結果の分析と考察

基本構想に基づいて作成した，自主実習題材での学習指導計画とコンテンツについて，有用性を考察するために，授業実践をした後，生徒を対象に事後調査を行った。自主実習題材での学習指導計画とコンテンツを活用した授業実践の概要及び結果の分析と考察について，「基本構想に基づく手立て」，「検証計画」，「授業実践の概要」，「授業実践結果の分析と考察」，「自主実習題材での学習指導計画とコンテンツの改良」から述べる。

### (1) 基本構想に基づく手立て

自主実習題材での学習指導計画作成の視点を基に，自主実習題材としてウォールポケット製作を行うこととした。その理由について，「小学校家庭科における製作実習題材と裁縫技能の習得状況の把握」，「自主実習題材ウォールポケット製作の構想」から述べる。

#### ア 小学校家庭科における製作実習題材と裁縫技能の習得状況の把握

自主実習題材を構想するために，授業実践を行う生徒，盛岡市立北陵中学校第1学年全7学級のうちの2学級61名（男子34名，女子27名）を対象に，4月に小学校家庭科での製作実習の状況について事前調査を行った。調査内容は，製作実習題材と，裁縫技能のうち手縫いとミシン操作及びミシンでの縫い方に対する意識の状況である。

【表2】は，小学校家庭科で取り組んだ製作実習題材についての調査結果をまとめたものである。製作実習題材は学年問わず「ランチョンマット」が多く，5年次では「ナップザック」，6年次では「エプロン」が多いことが分かった。

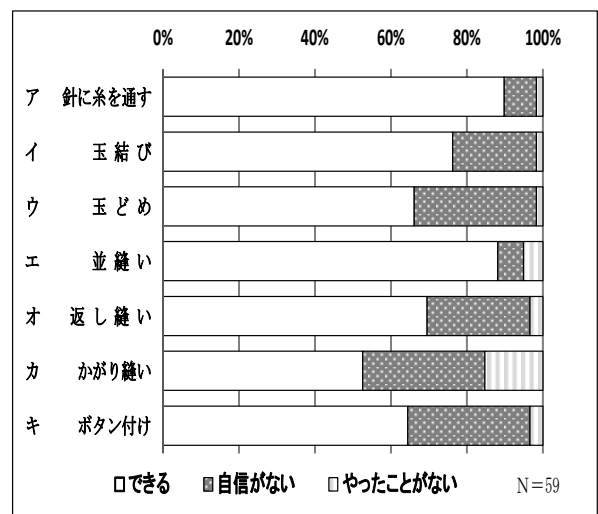
【図2】は，裁縫技能の手縫いに対する意識についての調査結果をまとめたものである。「玉どめ」「返し縫い」「かがり縫い」「ボタン付け」について「自信がない」・「やったことがない」と回答している割合が，30～50%となっている。

次頁【図3】は，ミシン操作及びミシンでの縫い方についての調査結果をまとめたものである。ミシン操作では，特に，「ミシンの下糸巻き」，「下糸の入れ方」について「自信がない」・「やったことがない」と回答している割合が，

70%を超えている。次に，ミシンの縫い方では，「ミシンでの角縫い」について「自信がない」・「や

【表2】 小学校5・6年次の製作実習題材  
(N=61 複数回答可)

5年次の製作実習題材名	人数
ランチョンマット	26
ナップザック	14
エプロン	6
バック	4
キーホルダー	3
小物入れ	2
6年次の製作実習題材名	人数
エプロン	38
ランチョンマット	23
小物入れ	12
ナップザック	10
バック	5
雑巾	3



【図2】 手縫いに対する意識



ったことがない」と回答している割合が、50%を超えている。

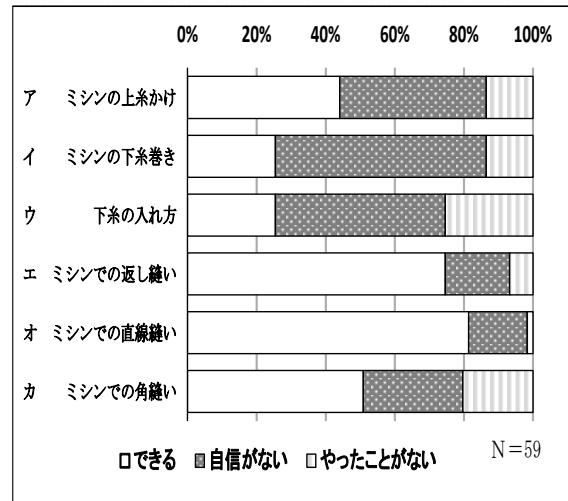
イ 自主実習題材「ウォールポケット製作」の構想  
 中学校技術・家庭科家庭分野では、製作、整備、操作、調理などの実習を「B食生活と自立」、「C衣生活・住生活と自立」の内容の学習指導で計画することが多い。

家庭分野では、これまで被服製作を伴う「簡単な衣服の製作」が生徒の興味・関心等に応じて、選択履修させる内容であったが、現行の学習指導要領では、「C衣生活・住生活と自立」の内容で「布を用

いた物の製作、生活を豊かにする工夫」が新設され、すべての生徒に履修させることとなった。布を用いた簡単な衣服や小物を製作することを通して、自分や家族の衣生活や住生活を豊かにするための工夫ができることをねらいとしている。製作に当たっては、手縫いやミシン縫いなどの基礎的・基本的な知識・技能を生かすとともに、まつり縫いによる裾上げ、ミシン縫いによるほころび直し、スナップ付けなど、衣服の状態に応じた適切な補修が実践できるようにする。佐藤文子（2009）では、製作実習題材の例として「ハーフパンツ、はっぴ、スモック、ベスト、小物、玩具、マルチカバー、防災袋、カーテン、タペストリーなど」を紹介している。開隆堂（2012）、教科書『技術・家庭 [家庭分野]』では、ペットボトルホルダー、ファイルカバー、ショルダーバック、ウォールポケット、パッチワークタペストリー、ハーフパンツ、ベストを紹介している。

授業実践を行う生徒に対して調査した小学校家庭科における製作実習題材と裁縫技能の習得状況の結果と、前述のことを踏まえて、「C衣生活・住生活と自立」の内容で指導する自主実習題材「ウォールポケット製作」を構想した。ウォールポケット製作は、事前に調査した小学校家庭科における製作実習題材とも重複せず、衣生活だけでなく、住生活を豊かにする工夫を計画させることが可能な実習題材である。実生活とのつながりや地域の生活文化とのかかわりについては、実生活とのつながりに配慮して、外出や帰宅の際に、自分や家族の身の回りの物を整理・収納できる工夫を計画させる。生徒一人一人が、自分や家族の生活を振り返り、ポケットに入れたい物を考え、その寸法を測り、出し入れに必要なゆとりを加えた型紙を作製し、ウォールポケットを製作する学習活動を通して、生活を豊かにする工夫を考えさせ、裁縫技能を習得させることができる。


ウォールポケットの製作方法や手順には、家庭分野で習得させる補修の裁縫技能だけではなく、小学校家庭科の裁縫技能のうち補充指導が必要な「玉どめ」、「返し縫い」、「かがり縫い」、「ボタン付け」、「ミシンでの角縫い」を盛り込んだ。また、ミシンの操作では、「ミシンの下糸巻き」、「下糸の入れ方」を想起させる実習指導を計画した。ウォールポケット製作の材料と完成見本教材を



【図3】ミシン操作及び縫い方に対する意識

【資料2】に示す。

【資料2】ウォールポケット製作の材料と完成見本教材

仕上がり寸法：縦34cm×横31cm	
材 料：台布(綿・無地布)縦40cm×横37cm	
ポケット用布(綿・柄布)縦40cm×横37cm	
平ひも70cm，スナップ1個，ボタン1個	
ミシン糸，手縫い糸，しつけ糸	

(2) 検証計画

自主実習題材「ウォールポケット製作」の授業実践を通して、実生活を振り返り、生活を便利にしていこうとする意欲や裁縫技能の習得に対する意識について事後調査や自己評価カードから分析・考察する。裁縫技能の習得状況について毎時間、製作品の製作部分の実技評価を行い分析し、考察する。

コンテンツの有用性について、コンテンツを活用した学習に関する意識について、事後調査を行い、分析する。これらによって、自主実習題材での学習指導計画とコンテンツの作成について検証を行う。検証計画を【表3】に示す。

【表3】検証計画

検証項目	検証内容	検証方法	処理・解釈の方法
意識の変容	実生活を振り返り、生活を便利にしていこうとする意欲について	質問紙法	事後調査を実施し、分析・考察を行う
	裁縫技能・技術の習得に対する意識について	学習シート (自己評価カード)	自己評価カードの記述内容により分析・考察を行う
生活技能の習得	裁縫技能・技術の習得状況について	製作品	毎時間、製作品の製作部分の実技評価を行う
コンテンツの有用性	コンテンツを活用した学習に関する意識について	質問紙法	事後調査を実施し、分析・考察を行う



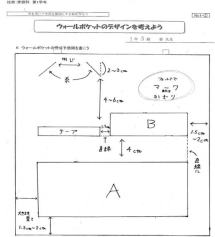
(3) 作成した自主実習題材での学習指導計画とコンテンツによる授業実践の概要



授業実践は、盛岡市立北陵中学校，第1学年全7学級のうち，2学級62名（男子34名，女子28名）を対象に平成26年10月7日（火）～11月4日（火）に10時間ずつ実施した。自分や家族の生活を振り返り，便利にするための自主実習題材「ウォールポケット製作」を行った。授業実施日と学習内容を【表4】に示し，授業実践の概要を次頁【資料3】に示す。

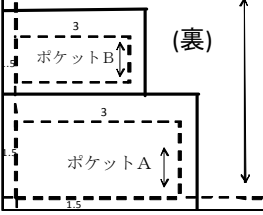


【表4】授業実施日と学習内容


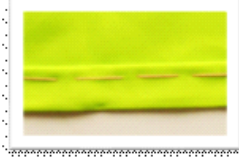


時間	授業クラスと実施日		学習内容
	1年5組	1年6組	
1	10月7日		ウォールポケットのデザイン作製
2	10月7日		ポケットの型紙づくり
3	10月21日		台布とポケット用布のしるし付け
4	10月21日		ポケット用布の裁断
5	10月23日		台布とポケット口の縫いしろのしまつ(しつけ)
6	10月23日		ポケット口の縫いしろのしまつ(まつり縫い)
7	10月27日		台布の縫いしろのしまつ(ミシンでの直線縫い)
8	10月27日		ポケットづくり
9	11月4日		台布へのポケット付け
10	11月4日		棒通しづくり(スナップ付け，平ひも付け)

【資料3】 授業実践の概要


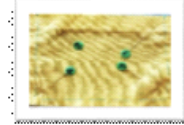




時間	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">学習内容</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">学習活動</div>	<p>[学習指導計画を支援するコンテンツ]・ [実習を支援するコンテンツ]の活用場面</p>	<p>生徒の様子</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">生徒の記述</div> <p>&lt;習得すべき生活技能&gt;</p>																								
1時間目	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">ウォールポケットのデザイン作製</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">生活を振り返り入れたい物や設置場所を考える</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">入れたい物を採寸し、表にまとめる</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">完成予想図の作製</div>	<p>・生活を振り返らせ、自分だけではなく、家族も活用する物であることを意識させるために、設置場所を考えさせる</p> <p>[学習シート 1 - ①]</p> <p>・入れたい物を採寸し、「3入れたい物の大きさを採寸しよう」にまとめさせる</p> <p>・採寸した結果を基に、型紙をつくらせる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>[記入例 学習シート1-① 3]</p> <p>3 入れたい物の大きさを採寸しよう 単位cm</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>入れたい物</th> <th>たて</th> <th>たて寸法</th> <th>横</th> <th>厚み×2</th> <th>ゆとり</th> <th>横幅寸法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手紙</td> <td>ポケットA・B</td> <td>21</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>1</td> <td>+2</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>ペン</td> <td>ポケットA・B</td> <td>14.5</td> <td>11</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>+2</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ポケットのたて寸法は、入れたい物のたての長さの3分の2を目安とする</p> </div> <p>[学習シート1-② 完成予想図]</p> <p>・図や説明を書きこませ、製作品のイメージをもたせるため完成予想図を作製させる</p>		入れたい物	たて	たて寸法	横	厚み×2	ゆとり	横幅寸法	手紙	ポケットA・B	21	14	15	1	+2	18	ペン	ポケットA・B	14.5	11	5	2	+2	9	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>・鍵をよくなくしていたことに気付いたので、鍵を入れたい</p> <p>・印鑑や懐中電灯・ろうそくを入れたい</p> <p>・ウォールポケットを玄関に置きたい</p> </div> <p>&lt;習得すべき生活技能&gt;</p> <p>・ものさしを使って、採寸することができる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>[時計を採寸している様子]</p>  </div> <p>[生徒が作製した完成予想図]</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・どこに何を置か迷ったが、最後には、決めることができた</p> <p>・自分が、使いやすいように配置を考えることができた</p> </div>
	入れたい物	たて	たて寸法	横	厚み×2	ゆとり	横幅寸法																				
手紙	ポケットA・B	21	14	15	1	+2	18																				
ペン	ポケットA・B	14.5	11	5	2	+2	9																				

時間	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">学習内容</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;">学習活動</div>	<p>[学習指導計画を支援するコンテンツ]・ [実習を支援するコンテンツ]の活用場面</p>	<p style="text-align: center;">生徒の様子</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;">生徒の記述</div> <p style="text-align: center;">&lt;習得すべき生活技能&gt;</p>
2時間目	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">ポケットの型紙づくり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">採寸した結果を基に型紙をつくる</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;">型紙を切る</div>	<p>[学習シート 1 - ①]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「5ポケットの型紙づくり(できあがり寸法)」の型紙の大きさを記入させ、それを基に、型紙づくりができるようにする</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;"><b>5 ポケットの型紙作り(できあがり寸法)</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>横幅寸法 ( 18 ) cm</p> <p style="text-align: left;">たて寸法 ( 14 ) cm</p> <p style="text-align: center;">ポケットA</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>横幅寸法 ( 9 ) cm</p> <p style="text-align: left;">たて寸法 ( 11 ) cm</p> <p style="text-align: center;">ポケットB</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">(布目方向)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>実技示範 ものさしの使い方 デジタルビデオカメラをプロジェクターに接続し、手元を拡大して見せる</li> <li>機間指導 ものさしで正しく測り、直線を引き型紙をつくらせる</li> <li>型紙の点検 生徒がつくった型紙を点検し、正しい寸法であるか確認する 全員が、できるまで進めさせない 点検が済んだ生徒は、完成予想図に書き込みを加えさせる</li> <li>型紙を切らせる できあがり線の内側を紙切りばさみで切らせる 裁ちばさみを使わせないよう留意する</li> </ul>	<p>&lt;習得すべき生活技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ものさしを使って、正しく採寸し、直線を引くことができる</li> <li>ゆとり分を加えて、正しく型紙をつくることことができる</li> </ul> <div style="margin-top: 20px;"> <p>[型紙づくりの様子]</p>  </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>[型紙の点検を受けている様子]</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>型紙を作ったことがなかったので、楽しかった</li> <li>型紙を作る時、採寸した横幅と型紙にする横幅寸法を間違えずにつくることできた</li> </ul> </div>


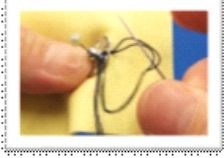
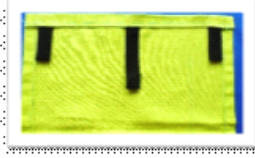
時間	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">学習内容</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;">学習活動</div>	<p>[学習指導計画を支援するコンテンツ]・ [実習を支援するコンテンツ]の活用場面</p>	<p style="text-align: center;">生徒の様子</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;">生徒の記述</div> <p style="text-align: center;">&lt;習得すべき生活技能&gt;</p>
3時間目	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">台布とポケット用布のしるし付け</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;">しるし付けをする</div>	<p>[学習シート2-①]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>型紙を布目のたて方向に合わせて置き、布を裁つことを理解させる</li> <li>型紙の大きい方から、しるしを付けさせる</li> <li>ポケット用布は、無駄なく裁断させる</li> </ul> <p>&lt;例&gt;</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>実技示範 しるしの付け方 (デジタルビデオカメラ活用)</li> <li>机間指導 布の置き方に気を付けさせる 全員が、できるまで進めさせない 画像情報を流し、生徒に再確認させる</li> </ul> <p>[画像情報] しるしの付け方</p> 	<p>&lt;習得すべき生活技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ものさしを使って、正しく採寸し、しるしを付けることができる</li> <li>布目の方向(たて、横、斜め)を見て正しく型紙を配置することができる</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>•できあがり線と裁ち切り線をしっかり書けた</li> <li>•布の見分けかたが分かった</li> <li>•しるしを付けるのがすごく難しかったができた</li> </ul> </div>
4時間目	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ポケット用布の裁断</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;">裁ちばさみを安全に扱い、裁断をする</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実技示範 裁断の仕方 (デジタルビデオカメラ活用)</li> <li>机間指導 布の裁ち方に留意させる 画像情報を流し、生徒に再確認させる</li> </ul> <p>[画像情報] 布の裁ち方</p> 	<p>&lt;習得すべき生活技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全に裁ちばさみを取り扱うことができる</li> <li>しるし通りに、裁断ができる</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>•裁ちばさみで正しくしるし通りに切ることができた</li> <li>•無駄がでないよう、ていねいに布を裁断することができた</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>•裁断のコンテンツを見て、とても分かりやすかった</li> <li>•コンテンツを見ながら作業を進めて、裁断ができた</li> </ul> </div>

時間	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">学習内容</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;">学習活動</div>	<p>[学習指導計画を支援するコンテンツ]・</p> <p>[実習を支援するコンテンツ]の活用場面</p>	<p style="text-align: center;">生徒の様子</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;">生徒の記述</div> <p style="text-align: center;">&lt;習得すべき生活技能&gt;</p>
5時間目	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">台布とポケット口の縫いしろのしまつ(しつけ)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">台布の両端を 広幅の三つ折りにする</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">台布の両端に しつけを かける</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">ポケット口を 三つ折りにし、 しつけを かける</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広幅の三つ折りの仕方を細かく段階を区切って説明する</li> <li>・安全にアイロンを使わせる</li> <li>・実技示範 広幅の三つ折り (デジタルビデオカメラ活用)</li> <li>・机間指導 折りし1cmを正しく折らせる 画像情報を流し、生徒に再確認させる</li> </ul> <p>[画像情報] 三つ折りの仕方</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・しつけの位置に気を付けさせる</li> <li>・しつけの縫い目は、0.5cmすくい、2cm出す縫い方をさせる</li> <li>・実技示範 しつけのかけ方 (デジタルビデオカメラ活用)</li> <li>・机間指導 折り端から0.3~0.4cmのところにしつけをかけさせる 画像情報を流し、生徒に再確認させる</li> </ul> <p>[画像情報] しつけのかけ方</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・指示 ポケット口を広幅の三つ折りにししつけをかけさせる</li> </ul>	<p>&lt;習得すべき生活技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しく三つ折りができる</li> <li>・安全にアイロンを使うことができる</li> </ul> <p>[台布の両端を広幅の三つ折りにしている様子]</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三つ折りを正しく折ることができた</li> <li>・アイロンを使って、しっかり三つ折りできました</li> </ul> </div> <p>&lt;習得すべき生活技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三つ折りの折り端から0.3cmのところにしつけをかけることができる</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい位置にしつけ縫いができた</li> <li>・しつけの縫い目に気を付けて縫ったので、少し時間がかかった</li> </ul> </div> <p>[ポケット口にしつけをかけている様子]</p> 

時間	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">学習内容</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">学習活動</div>	<p>[学習指導計画を支援するコンテンツ]・ [実習を支援するコンテンツ] の活用場面</p>	<p style="text-align: center;">生徒の様子</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">生徒の記述</div> <p style="text-align: center;">&lt;習得すべき生活技能&gt;</p>
6時間目	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ポケット口の縫いしろのしまつ(まつり縫い)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">まつり縫いの仕方を理解する</div> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>まつり縫いの縫い方を細かく段階を区切って説明する</li> <li>表布を小さくすくわせ、まつり縫いの縫い目を目立たせずに縫わせる</li> </ul> <p>[評価規準設定標本] 評価規準「B」の標本を各班に配布し、規準を参考に縫わせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実技示範 まつり縫い (デジタルビデオカメラ活用)</li> <li>机間指導 まつり縫いの縫い目に留意させる 画像情報を流し、生徒に再確認させる</li> </ul> <p>[画像情報] まつり縫いの縫い方</p> 	<p>&lt;習得すべき生活技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>針目間隔0.8～1.4cm, 針目0.3cmのまつり縫いができる</li> </ul> <p>[生徒が縫ったまつり縫いの表側]</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>まつり縫いの縫い目の間隔を均等にすることができた</li> <li>表側に縫い目を目立たせないようにした</li> </ul> </div>
7時間目	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ミシンの準備</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ミシンの準備について確認する</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ミシンの下糸巻きをする</div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">台布の縫いしろのしまつ(ミシンでの直線縫い)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">台布の縫いしろのしまつをする</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミシンの点検, 針の付け方, 下糸の巻き方, 下糸の入れ方, 下糸の出し方について確認させる</li> </ul> <p>[紙板書] ミシンの点検の仕方を説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実技示範 上糸のかけ方</li> <li>画像情報を活用して説明 針の付け方</li> <li>実技示範 下糸の巻き方 (デジタルビデオカメラ活用)</li> <li>机間指導 クラッチつまみ(ストップモーション大ねじ)を作動させ、安全に作業させる ボビンを均等に巻かせる</li> </ul> <p>[画像情報] ミシンの下糸の巻き方</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>実技示範 台布の三つ折り部分にミシン縫い (デジタルビデオカメラ活用)</li> <li>机間指導 ミシンで縫う位置に気を付けさせる 画像情報を流し、生徒に再確認させる</li> </ul> <p>試し縫いをさせて、ミシンの調子を確認してから作業をさせる</p> <p>[画像情報] ミシンの直線縫い</p>	<p>&lt;習得すべき生活技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ミシンの点検ができる</li> <li>ミシンの操作ができる</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>二人一組で、ミシンでの下糸巻きの練習を行った</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>ボビンにしっかり糸を巻き付けることができた</li> <li>難しいと思ったがボビンに糸を巻く方法が分かった</li> </ul> </div> <p>[縫いしろのしまつの手順を確認している様子]</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>ミシンを使い、真つすぐ縫うことができた</li> <li>ミシンの操作が、やっと分かった</li> </ul> </div>

時間	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">学習内容</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">学習活動</div>	<p>[学習指導計画を支援するコンテンツ]・ [実習を支援するコンテンツ] の活用場面</p>	<p style="text-align: center;">生徒の様子</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">生徒の記述</div> <p style="text-align: center;">&lt;習得すべき生活技能&gt;</p>
8時間目	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ポケットづくり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">           まち針で、 ポケット付け 位置のしるし を付ける         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 20px;">           台布にポケッ トのしつけを する         </div> 	<p>[紙板書] ポケット付け位置の取り方(図)を示す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 実技示範 ポケット付け位置のしるしの付け方 (デジタルビデオカメラ活用)</li> <li>• 机間指導 まち針で、ポケット付け位置のしるしを付けさせる 台布の表からポケット付け位置が分かるようにさせる</li> </ul> <p>[画像情報] ポケット付け位置のしるしの付け方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 実技示範 ポケットのしつけの仕方</li> <li>• 机間指導 アイロンでポケットの形をつくる ポケットを台布の表にまち針で止めさせる 折り端から0.5cmのところにしつけをかけさせる 画像情報を流し、生徒に再確認させる</li> </ul> <p>[画像情報] ポケットのしつけの仕方</p> 	<p>&lt;習得すべき生活技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• アイロンで縫いしろを折り込み、形を整えることができる</li> <li>• まち針を使って、ポケット付け位置を決めることができる</li> </ul> <p>[ポケットの形をアイロンで整えている様子]</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>• ポケットのしつけを折り山から0.5cmのところに縫えた</p> </div>
9時間目	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">台布へのポケット付け</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">           台布に ポケットを 縫い付ける         </div> 	<p>[紙板書] ミシンをかける順序(図)を示す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 実技示範 縫い止まり、角縫い (デジタルビデオカメラ活用)</li> <li>• 机間指導 縫い止まりの縫い方を確認させる 布地の向きを変える時は、針を落としたまま、押さえを上げた状態で変えさせる</li> </ul> <p>[画像情報] ポケットの縫い方</p> 	<p>&lt;習得すべき生活技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ポケットの縫い止まりができる</li> <li>• ミシンで角縫いができる</li> </ul> <p>[台布にポケットを縫い付けている様子]</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>• 返し縫いがしっかり重なるように縫えた</p> <p>• 難しかったが、角縫いの仕方が分かった</p> </div>



時間	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">学習内容</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">学習活動</div>	<p>[学習指導計画を支援するコンテンツ]・ [実習を支援するコンテンツ] の活用場面</p>	<p style="text-align: center;">生徒の様子</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">生徒の記述</div> <p style="text-align: center;">＜習得すべき生活技能＞</p>
10時間目	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">棒通しづくり (スナップ付け, 平ひも付け)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">平ひもの端に スナップを 付ける</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">平ひもの端の しまつ (返し縫い)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">台布に平ひも を縫い付ける</div> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平ひもの先へのスナップの付け方や棒通しの縫い方を細かく段階を区切って説明する</li> <li>・実技示範 スナップの付け方 (デジタルビデオカメラ活用)</li> <li>・机間指導 スナップを丈夫に縫い付ける方法に気を付けさせる 画像情報を流し、生徒に再確認させる</li> </ul> <p>[画像情報] スナップの付け方</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・実技示範 平ひもの端のしまつ(返し縫い)の仕方 (デジタルビデオカメラ活用)</li> <li>・机間指導 スナップの付いた平ひもの先を三つ折りにし、返し縫いさせる</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実技示範 台布に平ひもを縫い付ける (デジタルビデオカメラ活用)</li> <li>・机間指導 平ひも付け位置を確認させる 広幅の三つ折りにし、平ひもを挟み込み、縫い付けさせる 下部の縫いしろのしまつをさせる 画像情報を流し、生徒に再確認させる</li> </ul> <p>[画像情報] 平ひもの付け方</p> 	<p>＜習得すべき生活技能＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スナップを丈夫に付けることができる</li> <li>・平ひもの端のしまつは、三つ折りにし、返し縫いでしまつすることができる</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スナップを初めて付けて難しかったが、やっていくうちに楽しくできた</li> <li>・スナップをしっかりと付けることができた</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>・最後の上部、下部まで、今までのやり方でしっかりできた</p> </div>

#### (4) 授業実践結果の分析と考察

検証内容は、「実生活を振り返り、生活を便利にしていこうとする意欲」「裁縫技能・技術の習得に対する意識」「裁縫技能・技術の習得状況」「コンテンツを活用した学習に関する意識」である。事後に調査し、考察した。その結果、それぞれについてプラスの変容が見られ、自主実習題材での学習指導計画と作成したコンテンツを活用した授業実践は効果があったと考えられる。以下に詳細を示す。

##### ア 実生活を振り返り、生活を便利にしていこうとする意欲について

実生活を振り返り、生活を便利にしていこうとする意欲を調査するために、授業を行った2学級の生徒57名を対象に事後調査を実施した。【図4】にその結果を示す。

【図4】は、「学校以外でも生活を便利にする物を製作したいか」という質問に、「1 はい」と「2 どちらかというとはい」を合わせて47名の生徒が回答しており、83%の割合となった。

これは、自分や家族との生活を振り返って、ウォールポケットに入りたい物を考えさせたとき、自分だけが使うものを考えた生徒が、製作を通して、次は家族のために実生活を豊かにするために工夫したいという意欲の高まりと考えられる。

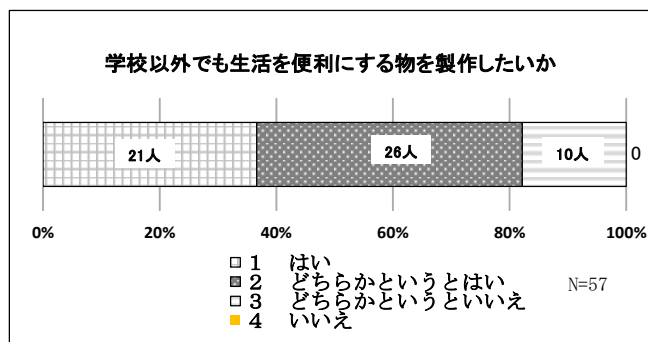
【資料4】は、「学校以外でも生活を便利にする物を製作したいか」という質問に、「1 はい」、「2 どちらかという

とはい」と回答している理由の記述である。この記述からウォールポケットが生活を便利にし、役立つ物であると生徒が考え、製作品を自分だけではなく家族にも活用してもらいたいと思う、家族の生活を便利にしてあげたいと思う意欲の高まりと考えられる。

##### イ 裁縫技能・技術の習得に対する意識について

裁縫技能・技術の習得に対する意識について調査するために、毎時間、授業の終末段階で生徒に自己評価カードの自己評価項目に対して評価をさせ、学習で気付いたことや感想を記述させた。自己評価カードの自己評価項目に対しての結果を次頁【図5】に示し、生徒2名の学習で気が付いたことや感想についての記述を次頁【資料5】に示す。

【図5】は、1時間目、「自分や家族の生活を振り返り、便利な生活ができるようなデザイ



【図4】生活を便利にしていこうとする意欲

##### 【資料4】生活を便利にしていこうとする意欲についての記述

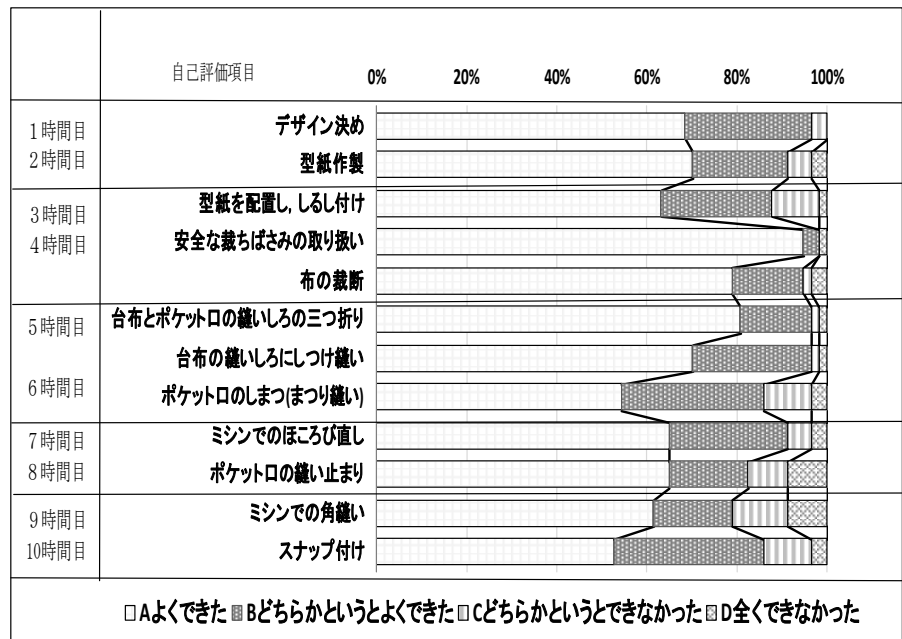
「1 はい」、「2 どちらかというとはい」を選択した生徒の記述

- ・いつも使いたい物がどこにおいてあるか分からないことが多くて困っていたから
- ・ウォールポケット製作を通して、自分だけでなく家族にも役立つ物を作りたいと思ったから
- ・よりよいものを作り、家族や自分の生活に役立てたいから
- ・ミシンで縫ったり、まつり縫いを試してみたりしていろいろな物を作りたいと思ったから

ンを考えることができたか」という自己評価項目に対して、「Aよくできた」と評価した生徒は68%、「Bどちらかというともよくできた」と評価した生徒は28%、この二つを足すと96%となった。その後、10時間目に至るまで

「Aよくできた」・「Bどちらかというともよくできた」と自己評価した生徒の割合は80%を超えていた。

これは、生徒が、自分で製作品のデザインを決め、型紙を作製し、裁断、縫製へと製作を一つ一つ進める中で達成感を得ることができたからと考えられる。



【図5】裁縫技能・技術の習得に対する意識について(N=57)

目の台布とポケット口の縫いしろのしまつで、小学校での裁縫技能の「玉結び」、「玉どめ」、「縫い取り」等を用いてしつけ縫いに取り組み、反復することができ、習熟度が増し、「Aよくできた」・「Bどちらかというともよくできた」と生徒が自己評価をしたと考えられる。

【資料5】の生徒Aの記述では、製作段階が進むにつれ、技能面での記述が具体的になってきていることが分かる。7・8時間目の記述に、「ミシンをていねいに、真っすぐに直線縫いをすることができた

【資料5】自己評価カード「今日の学習で、気付いたことや感想」についての記述

生徒A	
1・2時間目	生活を豊かにするためのデザインを考えることができた
3・4時間目	しるし通りに線を引くことができた コンテンツが、詳しく説明されていて分かりやすかった
5・6時間目	三つ折りをしつけを上手くやることができたが、まつり縫いが難しかった
7・8時間目	ミシンをていねいに、真っすぐに直線縫いをすることができた
9・10時間目	まだ、ポケットAしか終わっていないので、次は、しっかり終わるようにしたい
生徒B	
1・2時間目	ポケットは、たて寸法や横寸法でゆとり分をとらなければ、物が入らないことを知った
3・4時間目	布の耳に気を付けて裁つことが分かった
5・6時間目	アイロンを使って、しつけをすると、きれいにできた しつけは縫い目の出し方が並み縫いと違うことを知った
7・8時間目	ミシンでの角縫いは、順序に気を付けて縫うことが大切だった、台布にポケットをまち針で止める方法も分かった
9・10時間目	スナップ付けの説明を聞いてできた、最後のミシンも今までのやり方でちゃんとできた

ができた」とあり、ミシンの操作が上達し、スピードのコントロールができるようになったと考えられる。生徒Bの記述では、一単位時間で習得すべきことについて、理解したことや感じたことを記述している。習得した裁縫技能を活用し、製作することで達成感を得ることができたためと考えられる。

#### ウ 裁縫技能・技術の習得状況について

生徒の裁縫技能・技術の習得状況について把握するために、毎時間、製作品の製作部分についての実技評価を実施した。実技評価の結果について、「ポケット口の縫いしろのしまつ(まつり縫い)」を【表5】に示し、「台布の縫いしろのしまつ(ミシンでの直線縫い)」を【表6】に示す。

【表5】は、ポケット口の縫いしろをまつり縫いでしまつさせ、評価規準に基づき評価したものである。まつり縫いで評価がAの生徒は21名、評価がBの生徒は29名、この人数を足すと50名となり、87%の割合となった。

これは、初めて学習する裁縫技能であり、習得したいという意欲が高く、実技示範の際、デジタルビデオカメラをプロジェクターに接続し、手元を大きく投影したことで、生徒の理解が深まり習得が図られたと考えられる。

【表6】は、台布の縫いしろを広幅の三つ折りにし、折り端にミシンをかけて縫いしろのしまつをさせ、評価規準に基づき評価したものである。台布の縫いしろのしまつ(ミシンでの直線縫い)の評価がAの生徒は、両端で37名、上部で25名、下部で28名となった。

これは、ミシンをかけさせる前に、針のつけ方、上糸のかけ方、下糸の巻き方、下糸の出し方について教え、正しいミシン操作を確認させてから製作に取り組みさせた結果であると考えられる。また、実態把握で「自信がない」・「やったことがない」といったミシンの下糸巻きについては、二人一組で練習させ、均等に巻かれた下糸(緩みがある巻き方は、水平釜の中で絡む場合がある)で操作させた。台布の上部や下部の縫いしろのしまつを行うときにも、このことが生かされ、評価の結果が大きく下回ることはなかったことから、ミシンでの直線縫いやミシン操作の習熟が図られたと考えられる。

#### エ コンテンツを活用した学習指導に関する意識について

コンテンツを活用した学習指導に関する意識について、その有用性を調査するために、「裁縫技能のコンテンツを使った授業の分かりやすさ」「実習題材におけるコンテンツの有用性」について、生徒を対象に事後調査を実施した。その詳細を以下に述べる。

【表5】 ポケット口の縫いしろのしまつ(まつり縫い)  
評価結果 (N=57)

まつり縫いの評価規準	人数
A 針目間隔0.8cm 針目0.2cm以下	21
B 針目間隔0.8～1.4cm 針目0.3cm	29
C 針目間隔1.5cm以上 針目0.4cm以上	7

【表6】 台布の縫いしろのしまつ(ミシンでの直線縫い)  
評価結果 (N=57)

ミシンでの直線縫いの評価規準	人数		
	両端	上部	下部
A 直線, 折り端から0.2cm以下	37	25	28
B 直線, 折り端から0.3～0.5cm	11	17	18
C 曲線, 途切れがある	9	15	11

(ア) 裁縫技能のコンテンツを使った授業の分かりやすさについて

【図6】は、「コンテンツを使った授業は分かりやすかったか」という質問に、「1 はい」と回答した生徒は36名、63%の割合となった。「2 どちらかというとはい」と回答した生徒は16名、28%の割合となった。

これは、コンテンツを活用した補充指導を行ったことで、教員の実技示範のみで理解し、正しく製作に取り組める生徒と、教員の実技示範で理解できなかったところを、コンテンツの活用によって、自分で確認し製作に取り組む生徒がおり、主体的に製作を進めることができたからであると考えられる。また、教員から補充指導を直接受けたい生徒に対して、教員も時間をかけることができたからであると考えられる。

【資料6】は、「コンテンツを使った授業は分かりやすかったか」という質問に、「1 はい」と回答している理由の記述である。教員の実技示範で理解できなかったところを

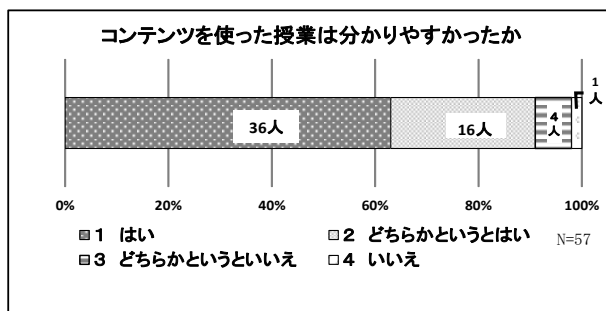
繰り返し確認でき、分かりやすかったと生徒が記述している。このことから、生徒が実習中に生活技能を習得するための支援としてコンテンツの活用が有用であると考えられる。

(イ) 実習におけるコンテンツの有用性について

【図7】は、「今後の家庭分野の実習において生活技能のコンテンツがあった方がいいか」という質問に、「1 はい」と回答した生徒は44名、77%の割合となった。「2 どちらかというとはい」と回答した生徒は11名、19%の割合となった。この二つの割合を足すと96%の割合となった。

これは、生徒が、裁縫技能を習得する際、コンテンツで確認しながら作業を行うことで、自己の課題を解決することができたからであると考えられる。

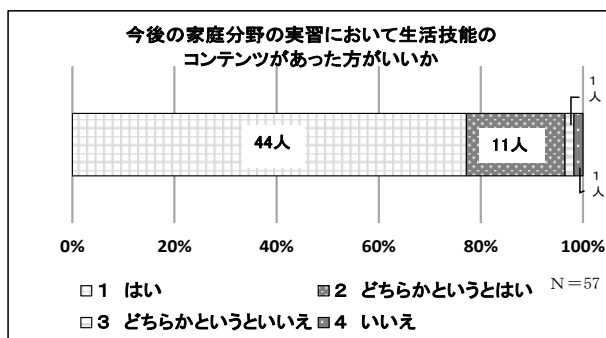
【資料7】は、「今後の家庭分野の実習において生活技能のコンテンツがあった方がいいか」という質問に、「1 はい」と回答している理由の記述である。生徒が、主体的に学習していくために必要であると感じていることを読み取ることができる。今後、家庭分野での実習を通して、生活技能の習得を図るためには、コンテンツを活用した学習指導が有用であると考えられる。



【図6】コンテンツを使った授業の分かりやすさ

【資料6】コンテンツを使った授業の分かりやすさについての理由

- ・繰り返し見ることで作業ができた
- ・画像が分かりやすかったから
- ・説明の後に画像があるのが良い



【図7】実習を支援するコンテンツの有用性

【資料7】実習を支援するコンテンツの有用性の理由

- ・分からないとき、すぐに確認できるから
- ・分かりやすく、安全にできるから
- ・先生の説明だけでは分からないときに画像で見ると分かりやすいから

## (5) 自主実習題材での学習指導計画とコンテンツの改良

授業実践の結果の分析と考察から、今回指導に活用した、学習指導計画を支援するコンテンツは、一単位時間で用いる資料が不足であった。また、実習を支援するコンテンツは、コンテンツの画像情報が精選されておらず、生徒の生活技能を高めるには不十分であった。そこで、さらに生活技能を高める指導を充実させるために、学習指導計画を支援するコンテンツと実習を支援するコンテンツの改良を加えたい。改良を加える点について「学習指導計画の改良」、「画像情報の改良」から述べる。

### ア 学習指導計画の改良

今回、10時間扱いの学習指導計画を立て、授業実践を行った。しかし、生徒に製作時間を十分に保障することができなかった。特に、型紙づくりは、白紙を用いて作製させたため、このときの自己評価では「Cどちらかというときできなかった」や「Dまったくできなかった」を回答している生徒が多くいた。生徒一人一人にポケットの大きさを工夫させたが、そのことに対応した、型紙づくりの学習シートや型紙の切り方のコンテンツを作成する必要がある。さらに、「今後の家庭科の実習において生活技能のコンテンツがあった方がいいか」という質問に、多くの生徒が必要であると回答していることを踏まえ、「B食生活と自立」の学習内容でも生活技能の習得を支援するコンテンツの作成を行わなければならない。自主実習題材「ウォールポケット製作」では、地域の生活文化とのかかわりへの配慮が不足していた。「B食生活と自立」では、伝統的な行事食や郷土料理に、十分に配慮した自主実習題材での学習指導計画を構想する。

### イ 画像情報の改良

「コンテンツを使った授業は分かりやすかったか」という質問について、「3どちらかというといいえ」と回答した生徒の理由に、情報量が多く、「見ていて混乱した」とあった。また、「速すぎて分かりづらい」という記述もあった。このことを踏まえ、コンテンツの情報量と速さについて改良する必要がある。ユニバーサルデザインの視点も視野に入れ、コンテンツを改良する。

## V 研究のまとめと今後の課題

### 1 研究のまとめ

本研究は、中学校技術・家庭科家庭分野における生活技能を高める学習指導を行うため、自主実習題材での学習指導計画とコンテンツを作成し、それらを活用した授業実践を通して、生活技能を高める学習指導の充実に役立てようとしたものである。

そのために、中学校技術・家庭科家庭分野における生活技能を高める学習指導に関する基本構想に基づき、自主実習題材での学習指導計画と生活技能の習得を支援するコンテンツの作成を行った。これらを活用することにより、基礎的・基本的な知識及び技能・技術を習得させることができた。さらに、実生活を豊かにするために工夫したいという意欲や、布を用いた物の製作を実

生活でも実践したいという意欲が高まった。これらのことから、中学校技術・家庭科家庭分野における生活技能を高める学習指導において、自主実習題材での学習指導計画は有効であり、コンテンツを活用して学習指導を行うことが有用であることを確認できた。

## 2 今後の課題

中学校技術・家庭科家庭分野における生活技能を高める学習指導を充実させるためには、「自主実習題材での学習指導計画作成の視点」を基に綿密な学習指導計画の作成と生活技能の習得を図るために「情報量や速さが適切なコンテンツ」をさらに改良していく必要がある。

生徒が自分や家族の生活を振り返り、実生活でも習得した生活技能を活用し、中学生としての生活を自立的に営む力を身に付けさせるため、生活技能を高める指導の充実が求められている。

<おわりに>

長期研修の機会を与えてくださいました関係諸機関の各位並びに所属校の諸先生方と生徒のみなさんに心から感謝申し上げます。結びのことばといたします。

### 【引用文献】

岩手県立総合教育センター（2014），『岩手県版電子黒板等ICT機器を利用した活用実践集』，岩手県立総合教育センター，p. 3

佐藤文子編著（2009），『中学校新学習指導要領の展開技術家庭科家庭分野編』，明治図書，p. 105

財団法人デジタルコンテンツ協会（2005），『デジタルコンテンツ制作入門』，財団法人デジタルコンテンツ協会，p. 31

文部科学省（2008），『小学校学習指導要領解説家庭編』，教育図書株式会社，p. 46

文部科学省（2008），『中学校学習指導要領解説技術・家庭編』，教育図書株式会社，p. 11，p. 12，p. 38，p. 46，p. 61，p. 74

### 【参考文献】

岩手県立総合教育センター（2012），『中学校技術・家庭科家庭分野における実践的・体験的な学習活動に関する研究－住生活の内容における題材開発と指導資料の作成を通して－』

岩手県立総合教育センター（2013），『防災教育と関連付けた家庭科指導資料』

岩手県立総合教育センター（2014），『小学校家庭，中学校技術・家庭の安全指導資料』

岡陽子編著（2013），『確かな学力をはぐくむストーリー性のある授業づくり新中学校家庭分野指導計画と題材集』，明治図書

北尾倫彦監修（2012），『[平成24年度版] 観点別学習状況の評価規準と判定基準中学校技術・家庭』，図書文化

クライ・ムキ（2012），『イチバン親切なおさいほうの教科書』，新星出版社

栗田佐穂子監修（2011），『きれいに縫えるミシンの基礎』，日東書院

国立教育政策研究所教育課程研究センター(2011),『評価規準の作成, 評価方法等の工夫改善のための参考資料【中学校技術・家庭】』, 教育出版株式会社

田中忠三郎著(2009),『図解みちのくの古布の世界』, 河出書房新社

田部井恵美子, 池崎喜美恵, 内野紀子, 青木幸子著(2005),『家庭科教育【改訂版】』, 学文社

筒井恭子編著(2012),『中学校技術・家庭家庭分野の授業づくりと評価』, 明治図書

鶴田敦子ほか63名(2012),『技術・家庭 [家庭分野]』, 開隆堂出版株式会社

内藤朗編集(2012),『改訂版こんなときどうする?すぐに役立つお直しと裁縫実例』, ブティック社

中間美砂子編著(2004),『家庭科教育法—中・高等学校の授業づくり—』, 建帛社

中間美砂子・多々納道子編著(2011),『中学校高等学校家庭科指導法』, 建帛社

流田直監修(2013),『できますか, 教えられますか, 家庭科の基本』, 株式会社学研教育みらい

福田公子・間田泰弘編集(2000),『家庭・技術科重要用語300の基礎知識⑩』, 明治図書

水野佳子(2012),『きれいに縫うための基礎の基礎』, 文化出版局

武藤八重子・鶴田敦子・伊藤葉子共著(2000),『テキスト家庭科教育』, 家政教育社

#### 【参考Webページ】

岩手県>いわての生活文化>いわての文化情報大事典

<http://www.bunka.pref.iwate.jp/seikatsu/>

南部菱刺研究会>南部菱刺し>一つづれやー

<http://www.hishizashi.com/>